



10/6(土) 13:30~18:00

2018 7(日) 10:00~16:00

場所 郡山市役所 特別会議室
福島県郡山市朝日一丁目23番7号

【アクセス】 JR個郡山駅から駅前バスロータリー[8][9]番乗り場から乗車。市役所下車。
([8]「下富田經由百合ヶ丘」行きは除く)
<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/031000/gaiyo/access.html>

下記URLよりお申し込みください。
<https://goo.gl/Njia5D>

申込締切
9/29
17:00



伝統工芸2.0

大堀相馬焼が挑戦する 継承の仕組みづくり

※定員に達し次第、
早期に締め切る場合がございます。

支援対象団体 大堀相馬焼

◆ 参加費 無料 (懇親会費別途)

◆ 定員 40名

◆ 主催 復興庁

Fw: 東北共創イベント 伝統工芸 2.0

大堀相馬焼が挑戦する継承の仕組みづくり

日時 2018.10.6(木) 13:30～18:00(開場 13:00) 2018.10.7(土) 10:00～16:00(開場 9:30) 場所 郡山市役所 特別会議室

地域課題と共創テーマ

福島県浪江町を拠点に、江戸時代から300年以上続く大堀相馬焼は、東日本大震災により全ての窯元が避難を余儀なくされました。各窯元は全国各地に離散して活動していますが、故郷は未だ帰還困難区域に指定されており、事業の将来性や、焼き物の命である土や釉薬の調達などに悩み、廃業をされたところも少なくありません。

長らく地域に根差してきた伝統工芸の活動基盤が突然に失われてしまうとき、販路の増強や、担い手の確保にどのような対処ができるのか、またどのように備えをすべきなのか。最近、全国的にも天災や予期せぬインシデントが発生しており、これらは東北に限定できない課題ともいえます。そこで今回は、大堀相馬焼のケースから、全国の伝統工芸にも応用できる「伝統工芸2.0」とでもいうべき、レジリエンスな仕組み作りを、皆さんと共に考えていきます。

登壇者

※順不同／敬称略

◆ 小野田 利治 (大堀相馬焼 春山窯 13代目 窯元)

大堀相馬焼「菅原陶器店」を、福島県本宮市で再開。福島県の本宮市英国訪問団の現地の訪問の際は、記念品の一つとして、春山窯の直径二十九センチの絵柄「走り駒」が躍動する絵皿が送られた。大堀相馬焼協同組合理事長としても、事業を再開している組合員をささえている。

◆ 山田 慎一 (大堀相馬焼 いかりや商店 13代目 代表)

白河市大信増見に白河工房を開設。和風絵本家『スペシャル「夏の職人24時」』で伝統産業を支える職人として紹介された。伝統的な品物から現代風、オーダーメイドのオリジナル商品と、大量生産ではない、手作りならではの温かみを表現した作品を手がける。

プログラム (予定)

※内容は、予告なく変更の可能性があります。

10月6日(1日目) 13:30-18:00(開場 13:00)

13:30	開会メッセージ・趣旨説明
13:40	インプットトーク 小野田 利治 氏 (大堀相馬焼 春山窯 13代目 窯元) 山田 慎一 氏 (大堀相馬焼 いかりや商店 13代目 代表) 松永 武士 氏 (大堀相馬焼 松永窯 4代目／株式会社ガッチ 代表取締役)
14:20	アイデアソン
17:30	中間発表
18:00	終了(懇親会を予定しています)

10月7日(2日目) 10:00-16:00(開場 9:30)

10:00	アイデアソン
13:00	ブラッシュアップ
15:30	成果発表会・講評
16:00	終了

参加対象者

- ・本テーマに挑戦してみたい方等
- ・伝統工芸の販路拡大や、技能継承に関心がある方等
- ・新たな人材が活躍できる地域産業に創出に関心がある方等
- ・地域資源の活用に興味のある方等
- ・共創に関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等
- ・高校生、大学生
(※未成年者は、保護者の同意が必要です。)

【注意事項】

※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。
※宿泊・食費その他実費は、参加者各位にてご負担下さい。
※宿泊先、及び宿泊先から会場までの交通手段は各自でご手配下さい。
※懇親会(10月6日夜)に参加される方は別途懇親会費用がかかります。

主催：復興庁／企画運営：NECソリューションイノベータ株式会社(受託事業者)

f 「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>